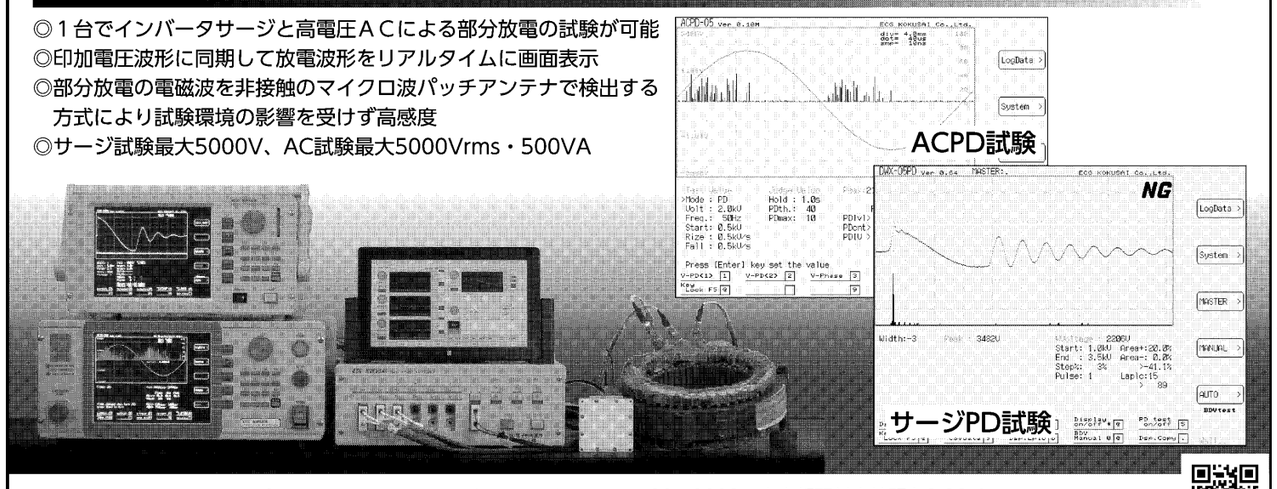
EV・HEVモータ絶縁評価試験装置 PD ONE 05

ECG-KOKUSAI

特 徴

◎1台でインバータサージと高電圧ACによる部分放電の試験が可能
◎印加電圧波形に同期して放電波形をリアルタイムに画面表示
◎部分放電の電磁波を非接触のマイクロ波パッチアンテナで検出する方式により試験環境の影響を受けず高感度
◎サージ試験最大5000V、AC試験最大5000Vrms・500VA



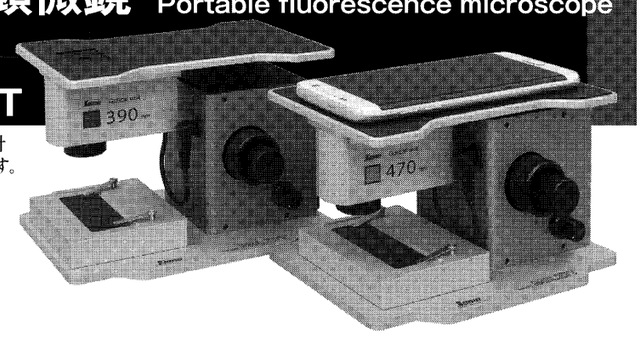
株式会社 電子制御国際 〒205-0023 東京都羽村市神明台3-33-6
http://www.ecginc.co.jp E-mail:info@ecginc.co.jp

Soma ハンディ蛍光顕微鏡 http://somaopt.co.jp Portable fluorescence microscope

スマートフォン対応の蛍光顕微鏡 MILZIT

▶お手持ちのスマートフォンを用いて、フィールドでの簡単な蛍光画像の取得を目的に設計されたハンディ蛍光顕微鏡です。活性染色された菌根菌の簡易蛍光観察が可能です。
▶バッテリ駆動の高輝度LEDを用いており、AC電源を必要としません。
▶電源事情の不安定な場所においても確実に画像取得が可能です。取得画像は、専用のソフトウェア（オプション、パソコン用）をご利用いただけます。

■ 片手で持てるコンパクト設計
■ 何処でも使用可能なバッテリー駆動（単三電池×3本）
■ 励起波長・蛍光波長・対物レンズ、交換可能

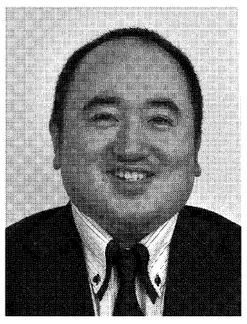


Soma 株式会社 相馬光学 〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井23-6 TEL：042(597)3256 FAX：042(597)3208

分析・測定・検査機器・
校正サービス／サポート

トップが語る 技術・製品・戦略

ECG-KOKUSAI 株式会社 電子制御国際



代表取締役社長
中村謙二氏

電子制御国際（ECG-KOKUSAI）は、電子機器に搭載されるコイル部品の小型化・高周波数化に伴うインダクタンス・コイルの試験や、コイルの絶縁信頼性試験に必要な部分放電試験ができる電子計測機器や検査機を提供している。顧客要望に合わせた自動機を自社内で製作できる強みを持ち、コイルやモーターの耐久テストの受託も請け負っている。

―2018年は。

車載モーターの絶縁評価を発売

「自動車やロボット向けにインパルス巻き線試験に強い引き合いがあり、複数台の購入にもつながった。スマートフォン関連では電源回路に使われるチップインダクターの絶縁不良を試験する計測機器が好調に推移した。おしなべて多忙の年であった。海外も欧州の電気自動車化の動きに支えられた」

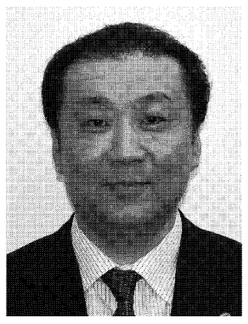
―本社・工場を建て替え中で、19年8月に竣工します。

「中国をはじめ産業用ロボットの普及が国内外で進み、モーターやコイルの試験要求の増加を見込んでいる。これまでの隣接する敷地を取得し、新本社・工場は約1・8倍の敷地となる。1、2階は製造フロアと資材置き場で、自動検査装置の増産に使うほか、主力のインパルス巻線試験機や完成品モーターの動的特性検査試験機などを製造する」

―新製品について教えて下さい。

「昨年は完成品モーターの試験機を標準品化した。コイルとモーターの試験データをひも付け、顧客提案の幅を広げている。試験項目は誘起電圧、振動などの6項目。試験対象は交流（AC）サーボモーターやブラシレス直流（DC）モーター、ステッピングモーターなど。今後も車載モーターの絶縁評価を1台で測定できるシステムを投入する。この新製品は高電圧ACと高電圧サージの両方でモーターコイルの線間や対地間の部分放電試験が網羅できる」

KYOSAI 京西テクノス株式会社



代表取締役社長
臼井 努氏

京西テクノスは故障した電子計測器や産業用電子器を修理・延命するサービスを展開。メーカーの修理サポートが終了した後の電子機器を、メーカーや機種を問うことなく卓越した技術で再生する。一方でIoTを生かして各種機器や機器周辺、稼働中の各種装置などの情報を遠隔地に居ながら可視化できるリモート監視ソリューション「Wi-VIS」を販売するだけでなく、24時間365日対応のサポートセンターから監視サービスも提供している。

―18年は「校正サービス」に参入されました。

「18年12月にNECマネジメントパートナー（川崎市中原区）の校正サービス事業を買収した。19年4月1日から当社の計測エンジニアリング部門として事業をスタート。修理から校正まで一気通貫で対応できる独立系校正事業者は当社だけと自負している。顧客の要望に迅速に応える体制が構築できた。売り上げ規模で業界トップクラスを目指す」

―19年の施策は。

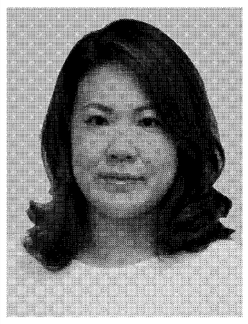
校正サービス事業に参入。修理と併せワンストップで提供

「校正サービスの本格稼働だ。当初はNEC中河原技術センター（東京都府中市）で事業を開始するが、9月には本社の北側隣接地に建設中の新棟に移転、本社に集約する」

―海外展開について教えて下さい。

「IoTサービスが開花している。グローバル化というと現地に拠点を設ける考えになりがちだが、当社は『イン・ジャパン・フォー・グローバル』を標榜し、国内に居ながら海外展開している。「Wi-VIS」を活用して日本国内の拠点から、世界各地の顧客の機器を遠隔監視するサービスや、機器のメンテナンスが可能だ。また、国際空港の保税工場内での修理サービスや校正サービスを行うことで、国内と同等の校正サービスが行え、顧客はコストと時間の短縮につながるメリットがある」

Soma 株式会社 相馬光学



代表取締役社長
浦 明子氏

相馬光学は高速液体クロマトグラフ（HPLC）や紫外可視分光検出器、光源モニターや色の測定、材料の反射率測定に応用できる分光器などを分析機器に関する開発・製造・販売をしている。畜産や水産分野における「食」の安全・安心・おいしさを届ける分析機器、フィールドで手軽に分析ができるハンディータイプの蛍光顕微鏡の提案を図るなど分光領域に革新をもたらしている。

―18年は「環境」を視野に入れたセキュリティー市場に参入しました。

「18年1月にフィンランドのガス分析企業とガスモニターの国内販売代理店契約を締結し、ポータブル型で軽量の多成分同時分析ガスモニターを発売した。工場施設や焼却設備などから発生する混合ガスを最大50種まで同時に分析でき、180度Cの計測ガスを直接取り込める優位性がある。簡単に操作でき、人が安全・安心の環境にあるかを知ることができる」

―ガス分析は好調な推移です。

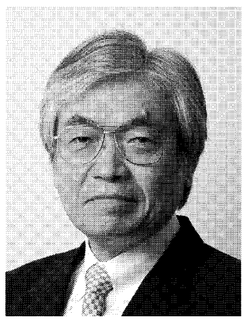
「環境」を視野に入れたセキュリティー市場に参入

「18年4月から売り上げは好調に推移している。ガス分析の技術や知見は既に有していた。しかし、装置の熟知向上は重要で、半年以上かけてトレーニングを行い技術力や顧客への提案力を高めた。触媒や新素材の研究開発といった新市場からの引き合いも活発に出ている」

―19年の取り組みについて教えて下さい。

「これまで生マグロの脂肪含量の割合を1秒で測定できる分析機器は、魚類を増やしサバやサケなどの脂肪含量の分析が可能となった。ブランド化された魚は人気があり、地方漁港などで活用してもらえると思う。ハンディータイプの蛍光顕微鏡『MILZIT』は低コストモデルの開発や提供できるサンプル情報を増やし、顧客の分析に対する創造力による市場を開拓したい」

Rigaku 株式会社リガク



代表取締役社長
志村 晶氏

X線分析・熱分析・X線非破壊検査機器のトップ企業であるリガクは、成長と安定を両立するグローバル企業としての勝ち残りを目指し、次世代成長基盤への投資等のイノベーションを加速する。18年は、米国子会社が開発した新しい携帯型ラマン分光計Progeny ResQ CQLを発売した。各種の爆薬・化学兵器・違法薬物を瓶・袋を開封せずに分析することに高い能力を発揮する」

―18年を振り返って。

「X線分析の新市場開拓に本格的に着手した。特に、IoT・AI産業関連、自動車産業関連、製薬・化学産業関連を重点に、ソリューション開発を強化した。また、携帯型ラマン分光計では、国内外セキュリティー市場における需要が拡大し、販売が大きく伸びた。そのほか、生産性改革と品質改革を推進し、海外子会社を含めた全社の経営効率改善に取り組んだ。この結果、18年度の連結売上及び営業利益は、共に二期連続で過去最高を更新する見通しである」

成長投資とグローバル・マーケティングにより新時代へ邁進

「18年4月から売り上げは好調に推移している。ガス分析の技術や知見は既に有していた。しかし、装置の熟知向上は重要で、半年以上かけてトレーニングを行い技術力や顧客への提案力を高めた。触媒や新素材の研究開発といった新市場からの引き合いも活発に出ている」

―19年の取り組みについて教えて下さい。

「中長期を見据えた次世代成長基盤の構築に注力する。ライフサイエンス分野では、細胞レベルのイメージング、分子レベルの構造解析のアプリケーションを強化する。また、5G時代を見据え、半導体分野、先端材料分野に向けた製品・アプリケーションを強化する一方、AIを活用した分析ソリューション開発にも着手する。また時代の変化に即応できる人材育成のために、リカレント教育を推進する」

―海外戦略は。

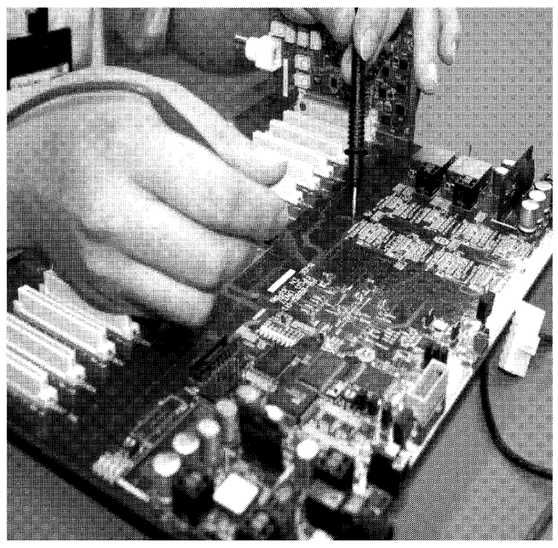
「北米及び欧州のアプリケーション・ラボを起点とし、中国・アジア・南米を含めた地域別プロダクト・マーケティングを強力に推進する」方、ウェブサイトを一新し、多言語対応・スマホ対応・利便性強化を図る。これらにより、海外顧客への営業効率を更に向上させる」

修理から校正までワンストップ!!

メーカー、機種を問わず修理・校正いたします

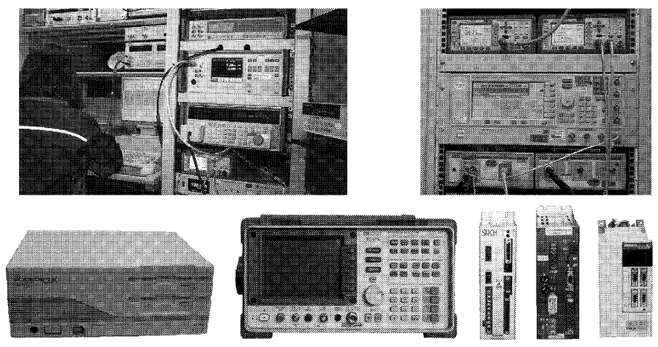
・校正サービスは最新の校正技術と広範囲な校正領域をカバー、高度な標準器による高精度校正を実現
・メーカーの修理サポートが終了した電子計測器・産業用電子機器の修理・再設計・オーバーホールなど

電子機器のメンテナンスは京西にお任せ！



★ 修理サポート終了を理由にメーカーに修理を断られた!
★ システムに組み込まれているのでこの機器でないと動かない!
★ 生産ラインへの影響が心配だから出張校正をしてほしい!
★ 校正した機器の履歴や試験データの保存など管理が面倒!

◎ 修理も校正もお任せください ◎



KYOSAI https://kles.kyosaitec.co.jp
京西テクノス株式会社
KLES技術部／営業部 0120-151-904
〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-25-2

Rigaku
Leading With Innovation

リガクのX線・熱・分光分析技術で
未来に貢献します

株式会社リガク 〒196-8666 東京都昭島市松原町3-9-12 ●東京 ●大阪 ●東北 ●名古屋 ●九州
☎(042)545-8111〈代表電話案内〉 URL https://www.rigaku.com
X線回折・蛍光X線分析・熱分析・発生ガス分析・分光分析・X線イメージング・非破壊検査